



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月29日

上場会社名 株式会社メディパルホールディングス

上場取引所 東

コード番号 7459 URL <http://www.medipal.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 秀一

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 土塩 守 TEL (03)-3517-5171

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,292,008	5.6	31,920	33.9	41,384	27.7	22,169	27.4
27年3月期第3四半期	2,169,703	△2.0	23,839	△8.1	32,395	△15.6	17,407	△15.8

（注）包括利益 28年3月期第3四半期 36,134百万円（17.8%） 27年3月期第3四半期 30,680百万円（16.1%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	97.90	-
27年3月期第3四半期	76.99	-

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,569,490	486,584	26.4
27年3月期	1,454,800	457,604	26.8

（参考）自己資本 28年3月期第3四半期 414,080百万円 27年3月期 390,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	12.00	-	12.00	24.00
28年3月期	-	13.00	-	-	-
28年3月期（予想）	-	-	-	13.00	26.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,033,000	5.6	38,000	15.9	51,000	14.7	26,400	11.4	116.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	244,524,496株	27年3月期	244,524,496株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	18,084,853株	27年3月期	18,082,826株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	226,440,672株	27年3月期3Q	226,108,539株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れ懸念があるものの、政府による経済政策の効果、雇用・所得環境や企業収益の改善などにより、緩やかな回復基調が続いております。

このような経済状況の中、当社グループでは、平成29年3月期を着地点とした「2017メディカル中期ビジョン Change the 卸 革新と創造」を掲げ、各事業においてビジョンに沿った取組みを推進しております。当社グループが培ってきた物流機能、営業機能をさらに強化して既存事業の革新を進めるとともに、資産・人材・資金や外部資源を活用した新たな事業の創造により収益の多角化を図り、当社グループの成長と更なる企業価値の向上をめざしております。

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高2兆2,920億8百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益319億20百万円（前年同期比33.9%増）、経常利益413億84百万円（前年同期比27.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益221億69百万円（前年同期比27.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品市場は、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進や新薬創出加算品、新たなC型肝炎治療薬の需要が拡大したことなどにより、販売は順調に推移いたしました。また、顧客との販売価格交渉を着実に進める一方で、物流業務の効率化などにより販管費の削減を行い、利益の確保に努めました。

本事業では、国民にとって安全・安心な医療を支える社会インフラとして、製薬企業から患者さんに至るまでのサプライチェーン全体の最適化・効率化を図るべく、卸機能を最大限に発揮するためのさまざまな取組みを行っております。

物流基盤の強化については、高品質・高機能かつ災害対策を施したALC※1による物流機能とサービスの全国への拡大を進めており、主要都市圏で稼働する6か所に加えて新たに3か所（福岡市東区、岡山県都窪郡、埼玉県三郷市）で建設を行っております。また、ALCが稼働するエリアにおいてはFLC※2の設置を進めております。さらに、ALCと連動して、調剤薬局における医薬品の品切れ防止や業務効率の改善などを実現する調剤薬局業務サポートシステム「PRESUS®（プレサス）※3」の普及を進めております。

営業面の強化については、MR認定試験合格者を高い専門知識とスキルをもつAR※4として任命し、新たなプロモーション活動に取り組んでおります。

また、全国の事業拠点やARなどの人材資源を活用し、医薬品の製造販売後調査（PMS）を製薬企業から請け負う事業を展開しております。

これらの結果、医療用医薬品等卸売事業における売上高は1兆6,062億36百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は177億21百万円（前年同期比49.1%増）となりました。

[用語解説]

※1 ALC（Area Logistics Center）とは、医療用医薬品や医療材料などを扱う最新鋭の物流センターで、主に調剤薬局、病院、診療所に商品を供給しております。

※2 FLC（Front Logistics Center）とは、ALCと連携して、顧客に近い場所で商品の安定供給を支える営業兼物流拠点であります。

※3 PRESUS®（Pharmacy Real-time Support System）とは、ALCと連動して、需要予測による自動発注や在庫管理などを行うオールインワンのシステムで、調剤薬局内の各種業務をサポートしております。

※4 AR（Assist Representatives）とは、MR認定試験に合格したMS（医薬品卸売業の営業担当者）や薬剤師などに付与した社内呼称であります。

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

化粧品・日用品、一般用医薬品の販売は、雇用・所得環境の持ち直しなどに伴う消費者マインドの改善や訪日外国人のインバウンド消費の拡大などにより、市場環境は改善傾向で推移いたしました。

このような環境の中、当社の連結子会社である株式会社PALTAC（大阪市中央区）では、「顧客満足の最大化と流通コストの最小化」をコーポレートスローガンに、人々の生活に密着した「美と健康」に関する商品をフルラインで取り扱う中間流通業として、サプライチェーン全体の最適化・効率化をめざした取組みを行っております。小売業の効果的な品揃えや販売活動を支援する営業体制の強化と、安心・安全で高品質・ローコストの物流機能強化を図り、平時の安定供給はもとより、有事の際にも「止めない物流」体制により、小売業ひいては消費者の皆さまへローコストかつ安定的に商品をお届けする取組みを行っております。

今期は、同社で最大規模となる「RDC関東※1」（埼玉県白岡市）が平成27年8月に稼働いたしました。さらに東北エリアの流通最適化に向けた取組みとして「RDC東北」（岩手県花巻市）の増設、ならびに「FDC青森※2」（青森県青森市）と「FDC八戸」（青森県八戸市）の建設が完了し、同年10月から稼働いたしました。

また、平成27年8月11日開催の同社取締役会において、株式会社マツモトキヨシホールディングスの連結子会社である伊東秀商事株式会社を吸収合併することを決議し、同年10月1日をもって合併いたしました。

これらの結果、化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業における売上高は6,521億63百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は128億79百万円（前年同期比16.6%増）となりました。

[用語解説]

※1 RDC（Regional Distribution Center）とは、化粧品・日用品、一般用医薬品などを扱う大型物流センターで、小売業に商品を供給しております。

※2 FDC（Front Distribution Center）とは、RDCを支援する仕分センターであります。

動物用医薬品等卸売事業

本事業では、当社の完全子会社であるMPアグロ株式会社（北海道北広島市）が動物用医薬品ならびに食品加工原材料等の販売を行っております。

動物用医薬品の販売は、畜産向け市場では畜産物相場の安定により、また、コンパニオンアニマル※向け市場では景気回復の後押しや、ペットの高齢化に伴う関連商品の販売が増加したことにより、順調に推移いたしました。食品加工原材料等の販売は、食の安全、おいしさと健康に結びつく提案型営業を全国的に展開し、大手食品メーカーを中心に販売拡大を図ったことにより、順調に推移いたしました。

これらの結果、動物用医薬品等卸売事業における売上高は357億51百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は7億90百万円（前年同期比92.5%増）となりました。

[用語解説]

※ コンパニオンアニマルとは、伴侶動物とも表現され、日常生活の中で人とより密接な関係を保つような動物を指しております。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1兆5,694億90百万円となり、前連結会計年度末より1,146億90百万円増加いたしました。

流動資産は1兆1,709億14百万円となり、前連結会計年度末より788億74百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の増加645億56百万円、商品及び製品の増加345億56百万円、現金及び預金の減少285億88百万円によるものであります。

固定資産は3,985億76百万円となり、前連結会計年度末より358億15百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加217億78百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は1兆829億6百万円となり、前連結会計年度末より857億10百万円増加いたしました。

流動負債は1兆145億95百万円となり、前連結会計年度末より734億68百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加678億38百万円によるものであります。

固定負債は683億10百万円となり、前連結会計年度末より122億42百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加84億97百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は4,865億84百万円となり、前連結会計年度末より289億79百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加161億75百万円、その他有価証券評価差額金の増加80億37百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月30日に公表した平成28年3月期通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	181,606	153,018
受取手形及び売掛金	678,831	743,388
有価証券	18,764	18,770
商品及び製品	144,184	178,741
その他	69,361	77,943
貸倒引当金	△710	△948
流動資産合計	1,092,039	1,170,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	75,151	85,982
土地	102,926	104,706
その他(純額)	20,151	29,319
有形固定資産合計	198,230	220,008
無形固定資産		
その他	10,747	11,757
無形固定資産合計	10,747	11,757
投資その他の資産		
その他	155,302	168,289
貸倒引当金	△1,518	△1,479
投資その他の資産合計	153,783	166,810
固定資産合計	362,760	398,576
資産合計	1,454,800	1,569,490

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	862,644	930,482
短期借入金	17,400	34,400
1年内返済予定の長期借入金	4,854	5,717
未払法人税等	11,186	5,208
賞与引当金	8,552	4,207
返品調整引当金	823	751
厚生年金基金解散損失引当金	—	282
その他	35,665	33,545
流動負債合計	941,127	1,014,595
固定負債		
長期借入金	4,928	13,425
債務保証損失引当金	400	320
厚生年金基金解散損失引当金	282	—
退職給付に係る負債	17,912	18,179
その他	32,545	36,385
固定負債合計	56,068	68,310
負債合計	997,195	1,082,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,398	22,398
資本剰余金	134,362	134,362
利益剰余金	218,221	234,397
自己株式	△21,477	△21,482
株主資本合計	353,505	369,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,997	57,034
繰延ヘッジ損益	7	△1
土地再評価差額金	△14,326	△13,993
為替換算調整勘定	1,526	1,390
退職給付に係る調整累計額	349	△26
その他の包括利益累計額合計	36,554	44,403
非支配株主持分	67,544	72,504
純資産合計	457,604	486,584
負債純資産合計	1,454,800	1,569,490

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	2,169,703	2,292,008
売上原価	2,018,863	2,131,885
売上総利益	150,839	160,122
返品調整引当金戻入額	831	823
返品調整引当金繰入額	886	751
差引売上総利益	150,785	160,195
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	58,316	59,432
福利厚生費	8,456	8,856
賞与引当金繰入額	3,948	4,087
退職給付費用	4,860	3,893
配送費	10,387	10,913
地代家賃	3,154	3,240
減価償却費	7,876	7,896
その他	29,945	29,953
販売費及び一般管理費合計	126,945	128,274
営業利益	23,839	31,920
営業外収益		
受取利息	89	104
受取配当金	1,859	1,889
情報提供料収入	5,322	5,524
不動産賃貸料	765	596
持分法による投資利益	702	1,279
その他	789	802
営業外収益合計	9,530	10,196
営業外費用		
支払利息	279	252
不動産賃貸費用	422	225
貸倒引当金繰入額	—	161
その他	272	94
営業外費用合計	974	733
経常利益	32,395	41,384

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	1,458	42
投資有価証券売却益	153	32
持分変動利益	125	—
その他	0	—
特別利益合計	1,737	75
特別損失		
固定資産除売却損	380	123
減損損失	180	639
投資有価証券評価損	395	98
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	204	—
その他	12	39
特別損失合計	1,174	901
税金等調整前四半期純利益	32,958	40,558
法人税、住民税及び事業税	12,186	12,562
法人税等調整額	△779	1,030
法人税等合計	11,406	13,593
四半期純利益	21,552	26,965
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,145	4,796
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,407	22,169

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	21,552	26,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,198	9,508
繰延ヘッジ損益	30	△17
土地再評価差額金	444	—
退職給付に係る調整額	125	△331
持分法適用会社に対する持分相当額	329	10
その他の包括利益合計	9,127	9,169
四半期包括利益	30,680	36,134
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,971	29,686
非支配株主に係る四半期包括利益	4,708	6,448

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	動物用医薬品等卸売事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1,530,853	605,824	33,024	2,169,703	—	2,169,703
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,676	474	6	2,157	△2,157	—
計	1,532,530	606,299	33,030	2,171,860	△2,157	2,169,703
セグメント利益	11,884	11,044	410	23,339	500	23,839

(注) 1. セグメント利益の調整額500百万円には、セグメント間取引消去2,028百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,528百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	動物用医薬品等卸売事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1,604,596	651,665	35,746	2,292,008	—	2,292,008
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,639	498	4	2,142	△2,142	—
計	1,606,236	652,163	35,751	2,294,151	△2,142	2,292,008
セグメント利益	17,721	12,879	790	31,392	528	31,920

(注) 1. セグメント利益の調整額528百万円には、セグメント間取引消去2,278百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,750百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。